

第79回国民スポーツ大会選考基準について

1 推薦選手選考基準

<成年の部>

18歳以上（高卒以上）の男女で、以下の各項いずれかに該当し、強化委員会の推薦により理事長が承認した者とする。

・特別指定選手（選考会を免除される選手）

前年度の戦績において、

- (1) 日本代表選手として国際大会へ出場した者
- (2) 日本ソフトテニス連盟からナショナルチームの一員として指名され活動した者、又は年代別アンダー指定選手として指名され活動した者
- (3) 全日本選手権・全日本社会人選手権、全日本学生・高校選手権大会等で優秀な成績を収めた者
- (4) 全日本シングルス選手権大会で優秀な成績を収めた者
- (5) 上記(1)から(4)に準ずる者

※ ダブルス成績の場合は、個人においても適用する。

・国スポ強化指定選手（一次選考会を免除することのできる選手）

前年度の戦績において、

- (1) 全国大会またはそれに準ずる大会（東・西・地方大会等）で優秀な成績を収めた者（一般・大学生・高校生）
- (2) 国スポ（ブロック大会含む）で岡山県選手として出場し活躍した者
- (3) 上記(1)若しくは(2)に準ずる者

※ ダブルス成績の場合は、個人においても適用する。

<少年の部>

・推薦（一次選考会を免除することができる選手）

- (1) ハイスクールジャパンカップに出場し、最終選考会に出場することが出来る選手

2 代表選手選考方法

<成年の部>

男子・女子：一次選考会において、ダブルス・シングルの試合を行い、二次選考会進出選手12名を選出する。なお、最終選考会実施のため必要がある場合、参加した選手の中から監督の推薦により強化委員会が承認し、選手を充足させることができる。

最終選考会において、一次選考会の成績も考慮し、選手6名を選出、強化委員長の承認、常任理事会での決定を経て代表候補選手へ通達する。ただし、特別指定選手の該当者がいる場合には、その者を含む6名とする。

<少年の部>

男子・女子：一次選考会において推薦ペアを含む8ペアを選出し、最終選考会で8ペアを2ブロックに分けリーグ戦を行う。その結果を参考に最終選考会出場者の中から高体連強化委員会において7名を選出し、強化委員会承認、常任理事会での決定を経て代表候補選手へ通達する。

※特記事項

代表監督については、強化委員長の推薦、常任理事会での決定を経て監督へ通達する。

同条で定めた選考会や選手選考方法、人数等について、インフルエンザその他感染症や事件・事故等不測の事態が発生した場合、または発生する恐れがあると認められる場合などは、強化委員会において検討し、理事長の承認を得て適宜変更する場合がある。